

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立東井高野小学校	学校	児童数	45
-------------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.90	22.95	34.43	44.71	53.62	9.34	160.71	23.38	57.95
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.78	18.00	41.00	40.43	43.87	9.67	156.22	15.22	58.36
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- 男子は全項目、全国平均より高く、体力合計点でも5.42ポイント上回った。女子についても、上体起こしが、大阪市・全国平均より若干下回ったものの、その他の項目は全国平均より高く、体力合計点でも4.44ポイント上回った。
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的な回答は男子90.4%、女子78.3%で、いずれも大阪市・全国平均より下回る結果となった。特に女子は7.9ポイント低い結果となった。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子15.0%、女子34.8%であり、全国平均より男子では6.2ポイント、女子では18.8ポイント上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 毎年、かけ足週間やシャトルラン大会などを設定し、体力向上に取り組んでいる。
- 運動委員会が中心となって、学期に1回以上体を動かす活動を計画し、実施している。また、遊びの紹介をすることによって、遊びのレパートリーを増やし、自主的に外で運動をすることができるよう動機づけを行っている。
- 体力、運動能力の数値に関しては概ね全国平均を上回っているが、女子の上体起こしに課題がみられるので、柔軟性を向上させる取り組みを、体育の授業をはじめ、さまざまな機会に取り入れる必要がある。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」への回答や、1週間の総運動時間の結果から、体を動かす絶対的な時間の確保と、運動をすることへの意欲を高める必要がある。集会活動や休み時間などの、体育以外の時間を活用し、遊びを中心に体を楽しく動かす経験をたくさん積み重ねることが大切である。